

7 避難行動とソフトな水害対策

1. アンケート調査の概要

実施日：平成16年9月4～12日
 方法：訪問配布・訪問回収
 回収率：見附市48.2%、中之島町68.6%
 データ数：見附市1,016、中之島町534

アンケート調査の対象地域

破堤箇所()付近で、浸水被害が発生した地域を調査対象とした。浸水被害の発生の有無については、見附市、中之島町が発表した浸水地域図を参考にし、地域の選定を行った。

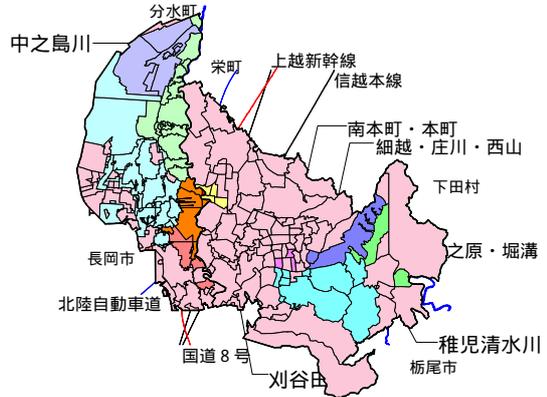


図7-1 調査対象地域

2. 浸水被害状況と避難行動

破堤点付近：浸水被害大

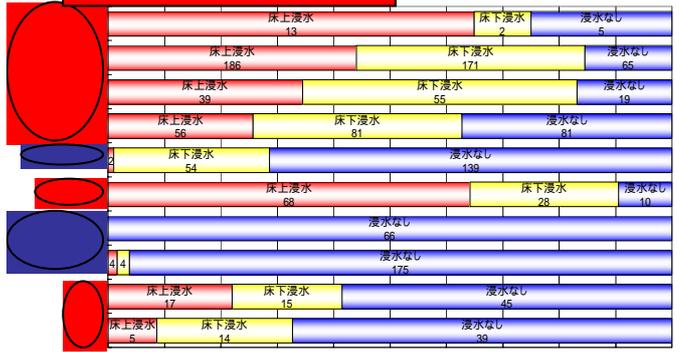
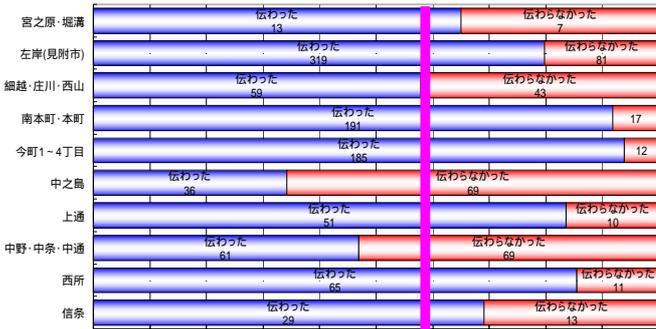


図7-2 浸水被害の状況

避難勧告は伝わったか



見附市60%以上の世帯に伝わる
 中之島34%、中野・中条・中通:47%

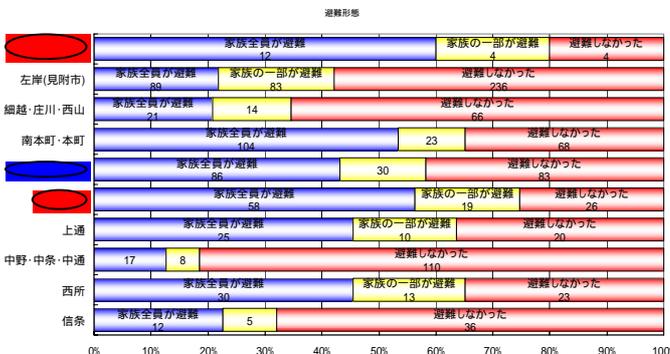


図7-4 避難行動の有無と形態

床上浸水の割合が大
 宮之原・堀溝80%、中之島75%が避難した

床下浸水さえ少なかった今町、58%が避難した

3. 避難行動の誘因

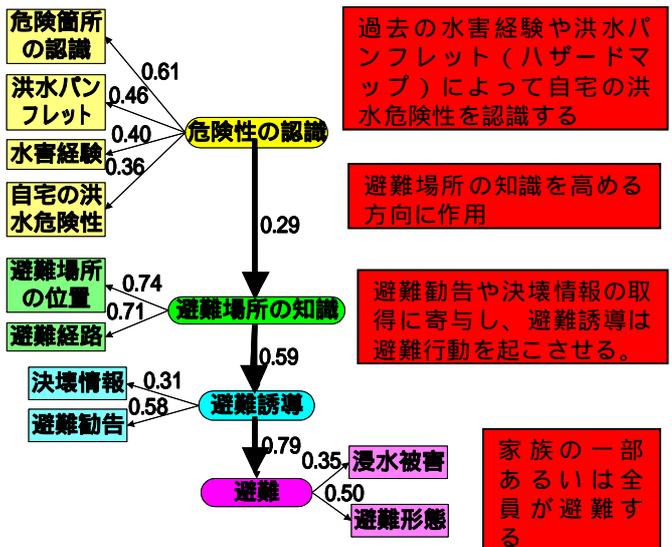


図7-5 避難行動誘引の因果構造(中之島地区を除く)

4. 今後のソフトな水害対策

避難勧告、避難指示の発令規準を明確にする
 情報伝達体制を強化する
 (防災無線システム等)
 平常時における個人の危機管理意識と
 コミュニティ形成、自主防災組織
 高齢者など避難困難者の避難援助